

考ええる力養う

囲碁

囲碁を授業科目として教える教育機関が増えている。東京都中央区の小学校4校は今年度、総合学習の時間で取り入れた。大学では青山学院大や埼玉大などが新たに単位認定科目に採用した。論理的思考力や創造力を育む効果があるとされ、導入を検討する学校が相次いでいる。数年前から話題となっている「囲碁ガール」に加え、ファンの裾野はさらに広がりをうたう。

小学校や大学で授業に 「礼儀も学べる」



今年度から始まった囲碁の授業で対局する児童(東京都中央区の区立常盤小学校)

「この石は絶対取れる」「こっちに置いた方がいいよ」。慣れない手つきで、児童が楽しそうにゴム製の小さな碁盤に碁石を並べる。東京都中央区立常盤小学校は4月から、6年生の総合授業でプロ棋士を招いた囲碁の授業を始めた。

中央区は今年度、ほか3校で囲碁の授業を実施する。導入の狙いは「集中力や思考力、礼儀作法などの育成」(区教育委員会)。「協力する日本棋院(東京・千代田)の担当者は「授業で教えるケースは珍しいが、中央区以外の教育委員会からも相談は多く、来年度はもっと増えそうだ」と話す。

002年以降、4千560人台に。2千人台だった高校選手権の参加者も4千人以上で安定している。昨年は囲碁ファンの若い女性を指す「囲碁ガール」という呼び名もブームになった。

囲碁は初めてという栗山大樹君(11)は「どうやって石を取ろうか考えるのが楽しい」と笑顔。武智茉愛さん(11)も「今

象に「囲碁で養うロジカルシンキング」を開講。定員50人の募集に対し、青山キャンパス(東京・渋谷)では4倍の応募があった。埼玉大も今年度から教育学部の選択科目「スポーツで養う思考力」の一部で囲碁を取り入れた。

特許庁発 発会社「V S」(東京 京国税局の け、201 での4年間 所得隠しを とが13日、 徴税額は重 約1億5千 は既に修正 られる。

大学でも青山学院大が4月、全学部の学生を対象に「囲碁」の授業を始めた。

東京大や早稲田大、慶応大などは数年前から単位認定科目として開始。最近さらに増えた背景には、若年層に一定の囲碁人気が定着してきた事情もある。

4倍 特許庁発 発会社「V S」(東京 京国税局の け、201 での4年間 所得隠しを とが13日、 徴税額は重 約1億5千 は既に修正 られる。

「脳の働き活発に」

網目状に線を引いた盤上に黒と白の石を交互に置き、石で囲んだ陣地が広いほうが勝つ囲碁。ルールはシンプルだが奥が深く、思考力などに好影響を与えるとする研究結果もある。

大学教授ら研究 児童に好影響

共同で東京近郊に住む囲碁未経験の小学生約170人を調べたところ、5週間の囲碁講座を終えた後は「文の字の色を判断する」などの質問の正解数が、開始前に比べて2〜4割増えた。対局中の脳を赤外線ですらった実験では、思考力をつかさどる「前頭前野」と空間認知力をつかさどる「頭頂連合野」で、血液が通常と桁違いという。

関係者は特許庁がた次期基幹事業で、東請けとして利益を上げ増しするを得を少なくという。同は答えられ